



第二中だより

No. 574

開校 54周年

生徒数 448名

令和2年12月1日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢1番4号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



「師走」

校長 橋本 真

11月25日・26日は、期末テスト

11月に入ると片手に教科書やノートを持って登校してくる生徒が目立ち始めました。テスト前の風物詩です。テストが始まり、教室を巡ると、「眉間にしわを寄せて問題と奮闘している姿」、「楽しそうに問題を解いている生徒」、「ポーカーフェイスでシャーペンを走らせている生徒」、「鉛筆が止まったままの生徒」どの生徒も真剣にテストに臨んでいました。

いよいよ師走、今年もあと1カ月

今年話題となったことばを選ぶ「新語・流行語大賞2020」のノミネート語30が発表されました。「うち時間／ステイホーム」「ソーシャルディスタンス」「3密（三つの密）」などの新型コロナウイルスに関連する言葉が半数を占め、今年の世相を色濃く反映していました。8月21日、真夏の太陽が照りつける始業式から68日が経ちました。この2学期、学年体育祭やマスク着用の学年三葉祭の行事、日々の学習活動や部活動、様々な制限のある学校生活でしたが、皆で知恵を出し合い、工夫する中で各学年・学級がお互いに認め合い、高め合い、支え合いながら二中としてのチーム力を高め一人一人がそれぞれに力をつけてきました。その2学期もまとめの時期になりました。

自分を振り返ろう!「振り返り」は、人が成長をするためには欠くことができない大切な作業です。以前の自分と今の自分を比較する、立てた目標の達成度を確認する事で、自分自身を見つめ直す作業のことです。皆さんは日々成長しています。今年の初めと比べて、今がどう変わったのか？ どう進歩したのか？ あえて自分自身を自分自身で「第三者の目、ひいき目なしの客観的な目」を持って振り返ることが大切です。身体的な成長、学習の成果、生活面の変化など必ずあるはずです。その中でも「やりきった

頑張った」という経験は、「やれるかもしれない？」から「やれる！」という自信につながります。それは必ず将来に生きます。年が変わるこの機会に、じっくりと時間をかけて1年間を振り返ってみてください。

進路選択3年生は、自分の追いかける進路の背中をはっきりと捉え始め、進路選択が大詰めになっていることと思います。日々、長時間にわたる学習に専念している3年生の皆さんにとって一番大切なのは、自分が何のために勉強をするか明確にイメージし、自分の進路をきちんと他人に説明できることが大切になります。毎年12月から1月にかけて、3年生の入試に向けた面接の練習があります。質問では、高校が受験生に対して何を求めているのか、自分が将来をどうしたいのかを確認するために実施されます。面接官が見ているのは表面的なことではなく、その生徒が「どれくらい入学の意思が強いのか、高校で何をやりたいのか、友達と仲良くやっていけるのか」など、目的意識をもち高校生活を送る気持ちや力を見ているのだと思います。面接は、自分の将来の夢や希望や自分はしっかりと高校生活を送れるということPRする場です。一人一人が目標に向かって努力している姿を面接官に見せてほしいと思います。

自分の進路、人生に関わること、将来自分は、こうありたいと思う道を歩むため、勉強するという決意や思いが最後にものを言います。

進路を選択するとは 進路選択自体には、正解も不正解もないと思います。何を持って自分の進路選択が正解なのかといえば、選択した後の行動の結果でしかありません。「正解を選ぶのではなく、選んだ道を正解にする」3年生は、4月から始まる新生活を前に、今、この選択が大きなチャンスかもしれません。